

大同生命における租税教室を拝聴して

平成28年1月13日、大同生命名古屋支社において、租税に関する研修会が行われました。

講師は、名古屋税理士会租税教育推進部・岩田真実部員（半田支部所属）です。

受講対象者は、大同生命の税理士代理店を担当する支部スタッフと、その直属の上司の方々です。お忙しい中、28人の方々が参加されました。

私を含め、名古屋税理士会から5人の租税教育推進部員が応援に駆け付け、後ろの席で見守ることになりました。始まる直前のプロジェクターの不具合に、応援団の私が動揺してしまいましたが、数多くの租税教室をこなされている岩田先生は、そんなハプニングにまったく動じることなく、落ち着いた様子で、自己紹介を皮切りに、税理士の職業の説明をされ、予定通りに2時間の講義を進められました。

私は、中学生と高校生を対象とした租税教室を何度か経験させていただきましたが、社会人対象の租税教室は、初めてで、とても、参考になりました。

受講された大同生命の社員の方々はどう思われたのか、講義の後で、名古屋税理士会租税教育推進部から、受講者の方々にインタビューしてみました。

入社7年目の女性の談「いつも担当している税理士先生の仕事を改めて知ることができ、よかったです。」

入社28年目の男性の談「社会人として改めて税金を納める意義を知り、選挙に行くことで、税金の使われ方の意思表示ができることを自覚しました。」と、なかなかの高評価でした。

何事にも自己責任となる社会人に、租税教室は必要なのかという意見もありますが、この講義を見る限り、税理士による租税教室は、聴く側にとって身近な税の話（今回は給与所得者の税金の仕組み）をわかりやすく解説することを機に、改めて、税金のことだけではなく、今後の我が国の行く末を考えるよい機会になると思います。

租税教育推進部

部員 鈴木 みはる